

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公開番号】特開2007-189748(P2007-189748A)

【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2007-106158(P2007-106158)

【国際特許分類】

H 04 M 1/274 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/274

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月19日(2008.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信回線を介して受信した発信者電話番号を複数記憶する発信者電話番号記憶手段と、電話番号と登録名を入力する入力手段と、

前記入力手段によって入力された電話番号と登録名が登録される電話帳手段と、を備えた通信装置であって、

前記発信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話帳手段へ登録する発信者電話番号を選択するとともに、該選択された発信者電話番号を、登録名を対応付ける前に前記電話帳手段へ転送し、該転送された発信者電話番号に前記入力手段によって入力された登録名を対応付けて、該発信者電話番号と登録名とを前記電話帳手段に登録することを特徴とする通信装置。

【請求項2】

前記電話帳手段に登録された発信者電話番号を選択して発呼することを特徴とする請求項1に記載の通信装置。

【請求項3】

通信回線を介して受信した発信者電話番号を複数記憶する発信者電話番号記憶手段と、電話番号と登録名を入力する入力手段と、

前記入力手段によって入力された電話番号と登録名を登録する電話帳登録手段と、を備えた通信装置であって、

前記発信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話帳登録手段によって登録する発信者電話番号を選択するとともに、該選択された発信者電話番号を、登録名を対応付ける前に前記電話帳登録手段へ転送し、該転送された発信者電話番号に前記入力手段によって入力された登録名を対応付けて、前記電話帳登録手段によって該発信者電話番号と登録名とを登録することを特徴とする通信装置。

【請求項4】

前記電話帳登録手段によって登録された複数の発信者電話番号から選択して発呼することを特徴とする請求項3に記載の通信装置。

【請求項5】

前記受信した発信者電話番号は、通信回線を介して着呼があつたきに受信した電話番号であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 6】

発信者番号を表示する表示手段を備え、
通信回線を介して着呼があったきに、受信した発信者電話番号を前記表示手段によって
表示することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の通信装置。

【請求項 7】

電話番号と登録名を入力ステップにより入力して、前記入力ステップによって入力され
た電話番号と登録名を電話帳手段に登録し、通信回線を介して受信した発信者電話番号を
発信者電話番号記憶手段に複数記憶する通信方法であって、

前記発信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話
帳手段へ登録する発信者電話番号を選択するとともに、該選択された発信者電話番号を
、登録名を対応付ける前に前記電話帳手段へ転送し、該転送された発信者電話番号に前記
入力ステップによって入力された登録名を対応付けて、該発信者電話番号と登録名とを前
記電話帳手段に登録することを特徴とする通信方法。

【請求項 8】

前記電話帳手段に登録された発信者電話番号を選択して発呼することを特徴とする請求
項 7 に記載の通信方法。

【請求項 9】

電話番号と登録名を入力する入力ステップと、前記入力ステップによって入力された電
話番号と登録名を登録する電話帳登録ステップとを有し、通信回線を介して受信した発信
者電話番号を発信者電話番号記憶手段に複数記憶する通信方法であって、

前記発信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話
帳登録ステップによって登録する発信者電話番号を選択するとともに、該選択された発
信者電話番号を、登録名を対応付ける前に前記電話帳登録ステップへ転送し、該転送され
た発信者電話番号に前記入力ステップによって入力された登録名を対応付けて、前記電話
帳登録ステップによって該発信者電話番号と登録名とを登録することを特徴とする通信方
法。

【請求項 10】

前記電話帳登録ステップによって登録された複数の発信者電話番号から選択して発呼す
ることを特徴とする請求項 9 に記載の通信方法。

【請求項 11】

前記受信した発信者電話番号は、通信回線を介して着呼があったきに受信した電話番号
であることを特徴とする請求項 7 乃至 10 のいずれかに記載の通信方法。

【請求項 12】

通信回線を介して着呼があったきに、受信した発信者電話番号を表示手段によって表示
することを特徴とする請求項 7 乃至 11 のいずれかに記載の通信方法。

【請求項 13】

コンピュータに、請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の通信装置の各手段を機能させるプ
ログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 の発明は、通信回線を介して受信した発信者電話番号を複数記憶する発信者電
話番号記憶手段と、電話番号と登録名を入力する入力手段と、前記入力手段によって入力
された電話番号と登録名が登録される電話帳手段と、を備えた通信装置であって、前記發
信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話帳手段へ
登録する発信者電話番号を選択するとともに、該選択された発信者電話番号を、登録名
を対応付ける前に前記電話帳手段へ転送し、該転送された発信者電話番号に前記入力手段

によって入力された登録名を対応付けて、該発信者電話番号と登録名とを前記電話帳手段に登録することを特徴としたものである。

また、請求項 2 の発明は、請求項 1 の発明において、前記電話帳手段に登録された発信者電話番号を選択して発呼することを特徴としたものである。

また、請求項 3 の発明は、通信回線を介して受信した発信者電話番号を複数記憶する発信者電話番号記憶手段と、電話番号と登録名を入力する入力手段と、前記入力手段によって入力された電話番号と登録名を登録する電話帳登録手段と、を備えた通信装置であって、前記発信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話帳登録手段によって登録する発信者電話番号を選択させるとともに、該選択された発信者電話番号を、登録名を対応付ける前に前記電話帳登録手段へ転送し、該転送された発信者電話番号に前記入力手段によって入力された登録名を対応付けて、前記電話帳登録手段によって該発信者電話番号と登録名とを登録することを特徴としたものである。

また、請求項 4 の発明は、請求項 3 の発明において、前記電話帳登録手段によって登録された複数の発信者電話番号から選択して発呼することを特徴としたものである。

また、請求項 5 の発明は、請求項 1 乃至 4 のいずれかの発明において、前記受信した発信者電話番号は、通信回線を介して着呼があったきに受信した電話番号であることを特徴としたものである。

また、請求項 6 の発明は、請求項 1 乃至 5 のいずれかの発明において、発信者番号を表示する表示手段を備え、通信回線を介して着呼があったきに、受信した発信者電話番号を前記表示手段によって表示することを特徴としたものである。

また、請求項 7 の発明は、電話番号と登録名を入力ステップにより入力して、前記入力ステップによって入力された電話番号と登録名を電話帳手段に登録し、通信回線を介して受信した発信者電話番号を発信者電話番号記憶手段に複数記憶する通信方法であって、前記発信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話帳手段へ登録する発信者電話番号を選択させるとともに、該選択された発信者電話番号を、登録名を対応付ける前に前記電話帳手段へ転送し、該転送された発信者電話番号に前記入力ステップによって入力された登録名を対応付けて、該発信者電話番号と登録名とを前記電話帳手段に登録することを特徴としたものである。

また、請求項 8 の発明は、請求項 7 の発明において、前記電話帳手段に登録された発信者電話番号を選択して発呼することを特徴としたものである。

また、請求項 9 の発明は、電話番号と登録名を入力する入力ステップと、前記入力ステップによって入力された電話番号と登録名を登録する電話帳登録ステップとを有し、通信回線を介して受信した発信者電話番号を発信者電話番号記憶手段に複数記憶する通信方法であって、前記発信者電話番号記憶手段によって記憶された複数の発信者電話番号から、前記電話帳登録ステップによって登録する発信者電話番号を選択させるとともに、該選択された発信者電話番号を、登録名を対応付ける前に前記電話帳登録ステップへ転送し、該転送された発信者電話番号に前記入力ステップによって入力された登録名を対応付けて、前記電話帳登録ステップによって該発信者電話番号と登録名とを登録することを特徴としたものである。

また、請求項 10 の発明は、請求項 9 の発明において、前記電話帳登録ステップによって登録された複数の発信者電話番号から選択して発呼することを特徴としたものである。

また、請求項 11 の発明は、請求項 7 乃至 10 のいずれかの発明において、前記受信した発信者電話番号は、通信回線を介して着呼があったきに受信した電話番号であることを特徴としたものである。

また、請求項 12 の発明は、請求項 7 乃至 11 のいずれかの発明において、通信回線を介して着呼があったきに、受信した発信者電話番号を表示手段によって表示することを特徴としたものである。

また、請求項 13 の発明は、コンピュータに、請求項 1 乃至 6 のいずれかの発明の通信装置の各手段を機能させるプログラムである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置、通信方法およびプログラム

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、通信装置、通信方法およびプログラム、より詳細には、発信者側が送信した発信者側の電話番号を受信し、その電話番号を記憶することが可能な通信装置に関し、携帯電話やPHSに応用可能な通信装置、通信方法およびプログラムに関する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上述のような実情を考慮してなされたもので、電話番号の電話帳への登録を、簡単な操作により、しかも、正確に行うことが可能な通信装置、通信方法およびプログラムを提供することを目的としてなされたものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、簡単な操作で、しかも、正確に発信者側の電話番号の登録をことができる。